

編集後記

今年度お茶の水女子大学はEquity, Diversity and Inclusion をテーマとした、大学の世界展開力強化事業が採択された。そのようなこともあり、今年度のテーマはDiversity and Inclusionとなった。今回のフォーラムはCOILの成果を新たに始まるEDIプログラムに引き継ぐ重要な役割を担うことができたと考える。

また、このフォーラムは超国家的視点からのシティズンシップ教育をめざしているが、COVID-19の影響もあり、近年はオンラインでの開催が続く。もちろん、相手大学を訪問し、直接相見えながら実施することにも意義があるが、このようにオンラインにより、いながらにして超国家的視点を有した教育の場が設定されることの意義も大きいと言える。さまざまな理由から留学等の機会が制限されている学生たちにも機会を提供でき、そればかりか、日常の中にこうした超国家的環境を構築することで、われわれの考え方を日常の中から変革することが可能であると考え。

両校の参加学生は発表や討論、交流の中で、様々な学びや気づきを得ているようであった。また自身が学ぶ学習言語を積極的に使い、プレゼンテーションやディスカッションのツールとして活用し討論し結論を導き出した。そしてその結果として、自身のできることを考え、今後の自身の行動の指針としており、シティズンシップ教育としてのフォーラムの意義も達成できたものと考え。

世界がグローバルになればなるほど、そこには多様性が生まれ、多様性は誤解や葛藤、対立の原因ともなり得る。しかし多様性を包摂することで、新たな観点が生まれ、今まで思いもつかなかった成果を生み出すことも可能である。その意味で、多様性と包括性をテーマに行われた今回のフォーラムの意義は大きかったといえよう。

(森山)

第12回国際学生フォーラム報告書

発行日：2023年9月30日発行

発行：お茶の水女子大学国際教育センター・グローバル文化学環

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

発行協力：ヴァッサー大学

編集：森山新

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 文教1号館807号室

E-mail moriyama.shin@ocha.ac.jp